

令和7年度知恵島小学校学校評価アンケート結果について

※アンケート結果は、肯定的な回答（そう思う、だいたいそう思う）の割合を示しています。
詳細結果は集計結果のグラフをご確認ください。

○本校重点目標達成におけた具体的な方策別の結果と考察

(1)「学力向上に向けた授業改善」について

※()は前年度の割合

結果

1子供は、基礎的な学力が身についている。	【83% (94%)】
2子供は、よく聞いて伝える力（発表する力等）が育っている。	【73% (89%)】
3子供は、タブレットの使い方に慣れ、活用している。	【89% (92%)】
4子供は理解が十分でない場合は先生から助言してもらっている。	【73% (81%)】
5子供は、家庭学習の習慣が身についている。	【73% (80%)】
6子供は、読書の習慣が身についている。	【33% (39%)】

考察

各質問事項ともに、昨年度に比べ肯定的な回答の割合が低くなっています。基礎学力の定着・向上にさらに注力するとともに、タブレットを効果的に活用するなど、児童全員にしっかりと「わかる授業」を展開できるよう授業改善を図っていきます。また、「理解が十分でない場合の教師の助言に関する質問」「家庭学習の習慣に関する質問」についても回答結果を踏まえ、児童個々の理解度等しっかりと寄り添った適切な対応にさらに努めていくとともに、より一層保護者の皆様との情報共有、密接な連携を図っていきます。「読書の習慣」に関する質問については、教職員の回答も低い結果となりました。週末読書や読み聞かせ、多読賞表彰、リーディングバディによる読書活動等の取り組みをさらに進めていきます。

(2)「子供の安心・安全を守り抜くための安全管理・安全指導體制の徹底」について

※()は前年度の割合

結果

7学校は感染症や熱中症等の予防、事故の防止に努めている。	【80% (90%)】
------------------------------	-------------

考察

概ね肯定的な評価をいただきましたが、昨年度よりも低い評価となりました。取り組みとしては、昨年度同様に残暑厳しく、児童の熱中症への危険性が心配されましたが、活動中の水分補給を適宜に行う等、適切な対応を心がけました。また、感染症についても、手洗い・うがい・マスクの着用等、状況に応じて対応しました。また、PTAのご協力のもと安全・見守りカメラの設置をしました。しかしながら、安心・安全な学校運営については、保護者・地域の方々に多大なるご心配をおかけしました。今後は、教職員一丸となって、児童にとってさらに安心・安全な学校となるよう力を尽くしていきます。

(3)「心豊かで思いやりのある児童の育成」について

※()は前年度の割合

結果

8子供は、思いやりの心が育っている。	【88% (95%)】
9子供は、自分や友達のよさ、人とのつながりの大切さに気づいている。	【89% (91%)】
10子供は、相手を思いやった正しい言葉遣いをしている。	【75% (83%)】

考 察 8, 9の質問については、昨年度よりも低くなっているものの概ね肯定的な回答となりました。しかしながら正しい言葉遣いに関する質問についてはさらに低い結果となりました。学校においては、人権教育、道徳教育の観点から、今年度も相手意識をもった行動、言動を大切にされた指導を心がけ、友達の思いやりのある行動を紹介する「思いやりんごカード」の取り組み等も継続しています。しかし、取り組みの見直し等、さらなる改善が必要であると考えます。心豊かで思いやりのある児童の育成には、家庭と学校との共通認識、しっかりとした連携が欠かせません。今後も保護者の皆様との連携を大切にし取り組みを進めていきます。

(4) 「生徒指導の充実」について

※()は前年度の割合

結 果

11子供は、自分から進んで元気のよいあいさつをしている。	【65% (82%)】
12子供は、時間を意識して生活をしている。	【69% (70%)】
13子供は、学校美化に進んで取り組んでいる。	【76% (82%)】
14子供は、授業ルールを守っている。	【93% (97%)】

考 察 「進んで元気のよいあいさつをしている」との質問の肯定的な回答の割合がかなり低い結果となりました。学校生活以外でもあいさつ、また規則正しい生活ができるようさらに指導を進めていきます。また基本的な生活習慣については、より一層の情報発信、情報共有を図っていきます。

(5) 「体力向上への工夫」について

※()は前年度の割合

結 果

15子供は運動する楽しさを味わっている。	【98% (93%)】
16子供は外遊びをしている。	【87% (84%)】

考 察 2つの質問ともに昨年度より肯定的な回答が高くなっています。学校においては、多くの児童が休み時間に球技や遊具を使った外遊びをしています。また今年度も校内持久走、みんなで遊ぼう集会等の取組により、心身ともにたくましい児童の育成に努めてきました。その成果もあり、運動が楽しいと感じている児童の割合が大変高いです。今後も体力向上におけた取り組みを継続していきます。

(6) 「家庭・地域との連携」について

※()は前年度の割合

結 果

	保護者
17学校は、ホームページ、学年だより・保健だより等で情報発信、情報共有に努めている。	【98% (89%)】
18学校は、子供の基本的な生活習慣が身につくように家庭と連携している。	【87% (85%)】
19学校は、地域学習、外部講師の活用、出会いづくりを積極的に行っている。	【87% (94%)】
20学校は、教育活動の維持発展と、保護者と教職員の負担軽減の両立に向けて取り組んでいる。	【87% (71%)】

考 察 4つの質問ともに、概ね肯定的な回答となりました。さらに取り組みを進めていきます。特に「教育活動の維持発展と、保護者と教職員の負担軽減の両立に向けて取り組んでいるか」については、昨年度より10ポイント以上高くなっています。今後も、職員の働き方や業務改善についての保護者・地域の皆様への理解を進めるとともに、学校行事、PTA活動の精選・見直し等、学校・保護者・地域が一体となって、よりよい学校教育に向けて見直しを図っていきます。